



平成24年4月17日

現存唯一の建造当初の姿を留めた江戸期の 大型取水堰「建部井堰」に関する報告書を刊行

<概要>

- ・岡山市北区建部町にある江戸期の「建部井堰」が、全国で現存する唯一の建造当初の姿を留めた総石張りの大型取水堰であることを検証した報告書、『旧建部町指定重要文化財 建部井堰調査報告書』を3月末に刊行しました。

<本文>

- ・その過程で、地元「建部郷一の口井堰を守る会」の全面的な協力を得て、全長640mの堰の実測を行い、石組みの状態を明らかにしました。
- ・建部井堰の価値は、国指定の重要文化財に匹敵しますが、旧建部町が岡山市に合併された段階で、町指定が解除されてしまいました。
- ・この井堰の存在は、岡山県に住む多くの一般の方には無名の存在で、岡山県以外の河川や農業や歴史の専門家にとってすら無名の存在です。こうした日本で唯一の貴重な遺産が岡山にあることを、全国的に知っていただきたいと思います。



<写真>建部井堰

<お問い合わせ>

大学院環境生命科学研究科教授 馬場俊介
(電話番号) 086-251-8851
(email) baba@cc.okayama-u.ac.jp